

日本DECにおける電子メール システム

統合オフィス ツール ALL-IN-1 における 電子メールの その 役割 と
効果 について

伊藤 昭博

日本デジタルイクイップメント株式会社
情報システム部 システム資源管理課

日本DECは米国DECの日本支社として、1968年に業務を開始し、
1982年に日本法人化を行なわれた。電子メールについては、当初は
海外との通信用にTELEXが使用されてきたが、1982年 VAX
導入後は社内メール用に VAXmail を使用開始しました。
1987年にVAXでの日本語サポート及び漢字端末の導入を行い、
ALL-IN-1による社内のOAシステムが構築された。
現在では、全従業員が使用できる環境が提供され、電子メールは社内の
コミュニケーションツールの一つとして、重要な位置を占めている。

THE ELECTRIC MAIL SYSTEM AT DIGITAL EQUIPMENT CORP JAPAN

The role and effectiveness of the electric mail in ALL-IN-1
office integrated system

AKIHIRO ITOH

INFORMATION PROCESSING SERVICES
DIGITAL INFORMATION SYSTEMS
DIGITAL EQUIPMENT CORPORATION JAPAN

Digital Japan has been established as a liaison office in Japan
in 1968 and incorporated in 1982.
In the first stage, telex has been used as a means of communi-
cations with overseas. Then in 1980 after VAX system installed,
VAXmail replaced it.
In 1985, internal office automation system has been constructed
by ALL-IN-1 with Japanese VAX os and Kanji character terminals.
Nowadays, the electric mail system in ALL-IN-1 is available to
use all employees, and has come to take a place in importance
in one of communication tools.

会社概要

- 日本ディジタルイクイップメント 株式会社 (略称 日本 DEC)
 - Digital Equipment Copration の 100 % 子会社
 - 設立 : 昭和 43 年 (1968 年)
 - 資本金 : 47 億 9900 万円
 - 従業員数 : 4,057 名
 - オフィス : 本社 (東京 池袋 SS60 内), 支店営業所 21 ケ所 , サービスセンター 31 ケ所 , 工場 1 ケ所 , 研究所 1 ケ所
 - 業務内容 : コンピュータに関する全ての関連製品の研究 , 開発 , 製造 , 輸入 , 販売 , 教育 , サービス サポート等の提供

- Digital Equipment Copration (略称 DEC)
 - 本社 : メイナード , マサチューセッツ州, U.S.A
 - 設立 : 1957 年 8 月 23 日
 - 資本金 : 1 億 3000 万ドル
 - 従業員数 : 113,800 名
 - サービス ネットワーク : 世界 96 ケ所 , 121 ケ所

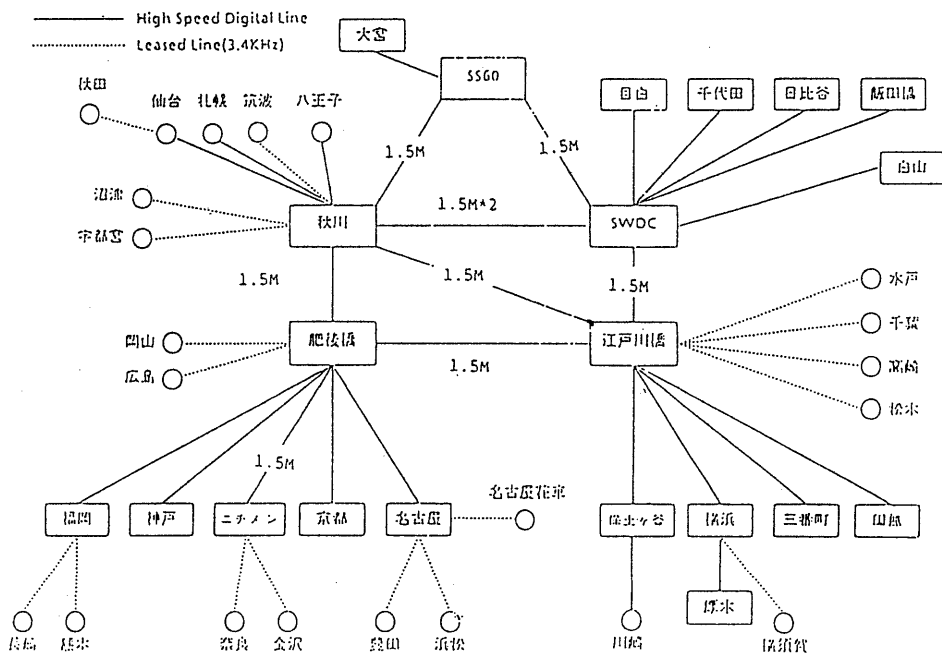
ネットワーク構成 - EASYNET

- 国内のネットワーク

- ネットワーク：拡張 ETHERNET に よる水平型ネットワーク (WAN/LAN)
- * ユーザーは どのノードにでも アクセス可能
- ノード数：2529
- 内訳：システム 695 台, ワークステーション 1456 台, PC 269 台, その他 109 台

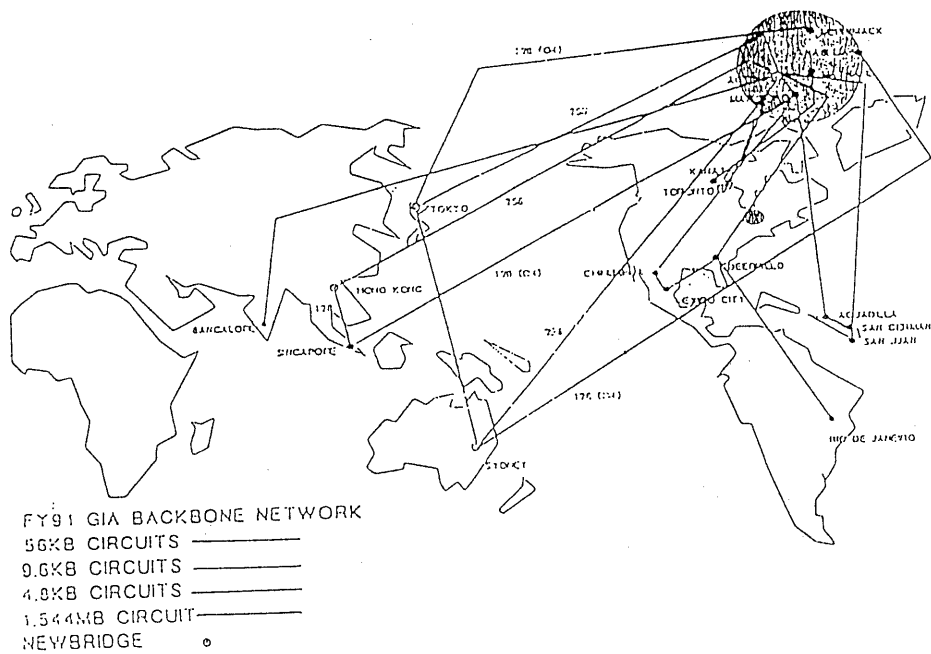
- 海外とのネットワーク

- 回線：衛星回線 及び 海底ケーブル
 - * U.S.A 128K 及び 56K, 香港 64 K.
- プロトコール：DECNET 及び TCPIP



- ワールドワイドの ネットワーク (EASYNET)

- ノード数 : 77,696
- サイト数 : 542
- 国 : 37
- AREA : 63



ALL-IN-1 システム構成

- データー センター (4 ケ所)
 - 多摩事業所: VAX クラスタ 3 台 (6350 10 台)
 - SS60(池袋): VAX クラスタ 2 台 (6440.7 台)
 - 保土ヶ谷: VAX クラスタ 1 台 (8820 3 台)
 - 大阪 : VAX クラスタ 1 台 (8840 3 台)
- ユーザー環境
 - 使用ユーザー : 全従業員 (約 4000 名)
 - 使用端末 : 漢字端末, ワークステーション, PC
 - サービス時間 : 24 時間 7 DAY (法定点検及び障害等除く)
 - その他 : 自宅及び 顧客サイトより電話回線を 使用してアクセス可能

社内電子メールの歴史

- 1980 年 (昭和 55 年)
 - VAX が 導入され, 海外との MAIL に VAXmail の 使用開始
 - 一部の ユーザーのみ 使用可能
 - 英語のみ サポート
- 1983 年 (昭和 58 年)
 - ALL-IN-1 の前身の DECMAIL を 導入
 - MANAGER 及び 一部 スタッフのみ 使用可能
 - 英語のみ サポート

- 1985 年 (昭和 60 年)
 - 英語版 ALL-IN-1 V2.1 の 導入
 - MANAGER 及び 一部 スタッフのみ 使用可能
 - 文章は 日本語が 可能 (漢字端末の 導入)
- 1989 年 (昭和 64 年)
 - 日本語 ALL-IN-1 V2.3 の 導入
 - MANAGER 及び スタッフのみ 使用可能 (約 1500 人)
 - 全て日本語が 可能
- 1992 年 (平成 4 年)
 - 日本語 ALL-IN-1 V2.4 の 導入
 - 全ての従業員 (4000 名)

ALL-IN-1 における電子メールの役割

- ALL-IN-1 の MENU
 - VIDEO TEX: 固有情報の検索
 - NOTES (電子掲示板 / 電子会議): 特定事項に対する電子会議
 - FAX (ファックス): 顧客への 情報提供
 - MAIL (メール): 特定する人との コミュニケーション
- 電子メールの用途
 - 会議の案内, 議事録の配布
 - 問い合わせ / 返事
 - 情報の連絡等

電子メールの機能

AXIHIRO ITOH #TBJ

Tue 08-Sep-1992

電子メール
(メールが 1 通来ています)

SEL 選択	フォルダ : 作成済	
C 作成	文書名 :	
E 変更	作成者 : AXIHIRO ITOH #TBJ	
D 削除	日付 : 08-Sep-1992 07:17pm	
P 印刷	文書番号 : 008546	状態 : 未送信
R 表示		
I 索引		
RI 再索引		II 索引 - 受信済
		IR 索引 - 閉封済
RH 閉封		IC 索引 - 作成済
A 返信		IO 索引 - 送信済
S 送信		
F 転送		TR トレーニング
O オリジナル・メッセージ		FH メッセージのファイリング
SH 状態表示		FI メッセージ本文のファイリング
NH メッセージ・ヘッダ変更		FA 添付文書のファイリング
DEF 日時指定送信		AIT 文書の添付
CAN 日時指定送信解除		DET 添付文書の解除
AF 自動転送		OL 配布リスト管理
CF 自動転送解除		NI ニックホーム管理
AR 自動返信		FC ファイル・キャビネット
CR 自動返信解除		V VMSmail 読み込み

AXIHIRO ITOH #TBJ

Wed 09-Sep-1992

ファイル・キャビネット
(メールが 1 通来ています)

SEL 選択	フォルダ : 0A封済	
	文書名 : RE: (X) DSS400	
	日付 : 08-Sep-1992 07:09pm	
FI 索引の印刷	文書番号 : 008545	状態 : 0A封済
RFD 文書のフォルダ変更	RFF フォルダ変更	
XFD 文書の共有化	IFF フォルダの共有化	
KCD 文書の取り消	KCF フォルダの取り消	
CD 文書交換	DF フォルダ削除	
U 索引情報更新	EV 関かごの整理	
L 特殊検索	FCO ファイル・キャビネット再編成	
SP ノモ用紙	IR トレーニング	

SFD 個人情報設定
 SVC 作業環境設定
 CAN カレンジ・アクセス管理
 FCO ファイル・キャビネット再編成
 CP パスワード変更
 PO プリント・メニューの印刷オプション設定
 SI 検索モード・スクリーン / ハードコピー

INTEROFFICE MEMORANDUM 008549

日付 : 09-Sep-1992 08:15am JST
発信 : AKIHIRO ITOH #18J
 ITOH,AKIHIRO
所属 : Japan DIS IPS
電話 : 3-694-7541

宛先 : AKIHIRO ITOH 31BJ (ITOH, AKIHIRO) 殿

CC : AKIHIRO ITOH (ITOH.AKIHIRO) 殿

表題 : test test

--- 本文 ---

1 DIGITAL INTERNAL USE ONLY / DEC 社外秘 1

電子メールの利用状況

- 国内メール

- 月間メール作成数: 150,000
- 月間メール受信数: 600,000
- 1 通 当 り 4 人 に 送 信
- 一人当りのメール作成数: 2 通 / 日
- 一人当りのメール受信数: 7 通 / 日

- 海外とのメール

- 月間メール送信数: 18,000
- 月間メール受信数: 20,000

効果 と 今後の課題

• 効果

- 電話と同等に重要な社内コミュニケーション ツール
 - * 相手が 不在時, 連絡可能
 - * 時差の 違いを 克服
 - * 一度に複数の相手に 連絡が可能
 - * 記録として, 残る

◦ 今後の 課題

- 電子承認システムの 導入
 - * メールの 付加機能
- 新しい技術動向への対応 (PCIP,PATHWORKS,TEAMLINK,MAILWORKS 等)
 - * クライアント / サーバー への対応
 - * システム負荷の分散化
- 外部との メール接続
 - * X.400 の 導入
 - * UNIX ネットワークとの接続 (JUNET/WIDE 等)
- システム資源の有効活用
 - * メール の 保有管理の強化